

令和 3 年 7 月 29 日

関係各位

京都市立堀川高等学校
校 長 橋 詰 忍

京都市立堀川高等学校

第 23 回 教育研究大会のご案内（一次）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は本校教育活動に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、来る 12 月 17 日（金）に本校におきまして、第 23 回教育研究大会を下記のとおり開催いたします。

本大会は、京都市立高等学校教育改革のパイロット校に指定された本校の教育活動を公開し、ご指導とご助言を仰ぐとともに、よりよい高等学校教育の実現に向けて活発な交流を行うために開催するものでございます。

本大会では、学びの意欲と自己調整力を高めるために組織的に進めている取組を報告する全体会に加え、研究授業や公開授業、および教科別の分科会を実施いたします。

ご多用のことと拝察いたしますが、多くの方々に参観いただき、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 研究大会テーマ

生徒自身が「問い」を見つける授業 ～学びの意欲と自己調整力を高めるために～

2. 実施日時等

日時：令和 3 年 12 月 17 日（金） 9：30～17：00

場所：京都市立堀川高等学校 本館

（京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町 622-2）

・プログラム

8:45	9:30	10:20	10:40	11:30	11:45	12:35	14:00	16:00	16:15	17:00
受付	全体会Ⅰ	休憩（移動）	公開授業 研究授業Ⅰ	休憩（移動）	公開授業 研究授業Ⅱ	昼食・休憩	教科別分科会	休憩（移動）	全体会Ⅱ	

(1) 全体会Ⅰ

- ・校長あいさつ
- ・研究テーマの意図について

教科指導において、生徒たちが「問い」を生み出す場面とはどのようなものか。
今回の研究大会では「問い」が生まれることから、主体的な学びへとつながる授業
について、各教科の実践をもとに考える。

(2) 研究授業Ⅰ・Ⅱ（公開授業）

- ・各教科の授業実践

(3) 教科別分科会

- ・研究授業ⅠおよびⅡに関する研究協議

(4) 全体会Ⅱ

- ・令和４年度以降の新教育課程のねらいについて

生徒の自己調整力を高め、自らの学びを設計することができるようにするための
仕掛けと方略について報告する。

3. その他

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、外部参加者のご来校については引き続き慎重に検討し、京都府内教育関係者を中心に可能な限り受け付けたいと考えています。詳細は11月中旬に本校ホームページに掲載する二次案内をご確認ください。

(2) 申込方法：二次案内に掲載

（本研究大会のお問い合わせ先）

京都市立堀川高等学校 研究部 達，関目，桐原

メール：kenkyu2021info@horikawa.ed.jp

電話：075-211-5351

以上